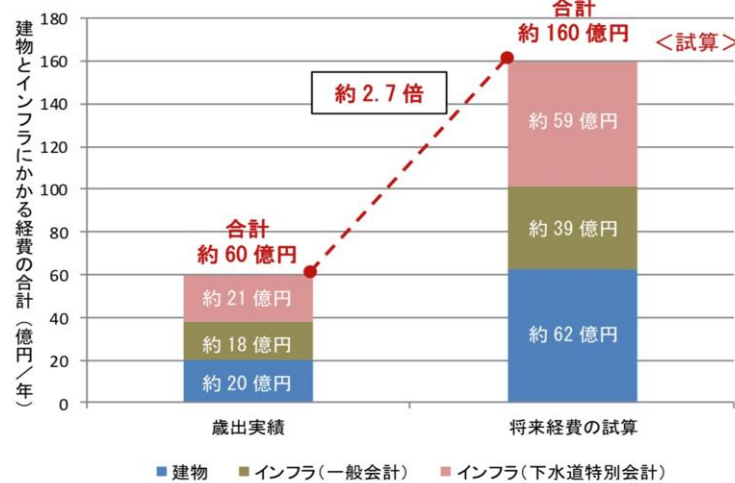


◆**鎌倉市の財政が危機に陥る！**…インフラ老朽化で大変な事に

図表 建物とインフラの合計による歳出実績と予測結果の比較



◆**危機的状況!**

インフラ老朽化  
公共施設老朽化

建物とインフラにかかる歳出実績は約 60 億円/年  
→ 将来経費は約 160 億円/年の約 2.7 倍に増額

60 億円  
↓↓↓ **爆上げ**  
160 億円

○ **公共施設老朽化増額経費**

公共施設の年間投資的経費は 19.8 億円/年 (2017 年～2022 年)

→ 今後 40 年の更新コストは 3.2 倍の 62.6 億円/年 (40 年間で 2,504 億円) に増加

○ **インフラ老朽化増額経費**

インフラ管理経費は 約 40 億円/年 (2013 年実績)

(一般会計約 18 億円、下水道事業特別会計約 21 億円)

→ 今後 40 年の更新コストは 2.4 倍の約 97 億円/年 (40 年間で 3,889 億円) に増加 (一般会計約 39 億円、下水道事業特別会計約 59 億円)

- ・道路(621km)、橋りょう 207、トンネル 19、街路樹 47358 本
- ・下水道(汚水 488km・雨水 237km)

下水管渠 25.2% が 50 年越え → 123km (汚水管耐用年数は約 50 年)

開削工法 → メータ-単価 22 万円 × 123km = 270 億円 ← 管を交換した場合

管更生工法 → メータ-単価 18 万円 × 123km = 220 億円

○ **各事業の予算**

深沢新庁舎 170 億円 + 現庁舎建て替え 140 億円 = 310 億円、深沢地域整備事業費 264 億円、村岡新駅 43 億、鎌倉漁港 54 億、名越中継施設 54 億円、市営住宅 122 億円 → 物価高騰は加味されていない。更に負担増になる。

○ **山崎浄化センターが耐震化**

新たに山崎浄化センターが耐震化基準を満たしていない事が私の 9 月議会の質疑で発覚。耐震化を行うには概算 124 億円必要。

新庁舎 310 億円でやっている場合ですか?



我人に媚びず  
富貴を望まず

◆ **鎌倉市議会議員長嶋竜弘**  
第 196 号 5 期目 10 号 (地元号) (完全無所属)

メール: [kamakurasi@gmail.com](mailto:kamakurasi@gmail.com)

- ・稲小-成中-茅ヶ崎高校-和光大
- ・さいかや、東急ハンズ、西友
- ・道の駅パスカル清見店長など



長嶋 HP

～命を守る・生活を守る、街を守る

文化・芸術を育み歴史を継承する～

「市民が安心して健康で楽しく幸せな毎日をご過ごせるようにサポートする」

一見良く見える鎌倉市政、しかし松尾市政 4 期 16 年で鎌倉市は劣化の一途を辿っています。裏を覗けば鎌倉市役所組織は崩壊寸前で機能していない状態です。

身の回りの生活の問題で鎌倉市役所とやりとりした事がある方は「動かない市役所」を実感しているのではないかと思います。

鎌倉市の予算は大幅に増額になっていますが、皆さんが払った税金が一体どこに使われているのか? 実感が沸かないのではないのでしょうか?

市民サービスが他市より劣っているそう感じている市民の皆様は多いと思います。これを変えなければなりません。

- ・予算は無限では無い、今優先すべき事業は何か?
- ・山積みの課題を解決するだけで財政的に大変な状況。
- ・厳しい物価高騰などの社会情勢と人手不足は深刻。
- ・新庁舎整備の前に山積みの課題解決を先にやるべきでは?

このままでは市民サービスは更に劣化していきます。

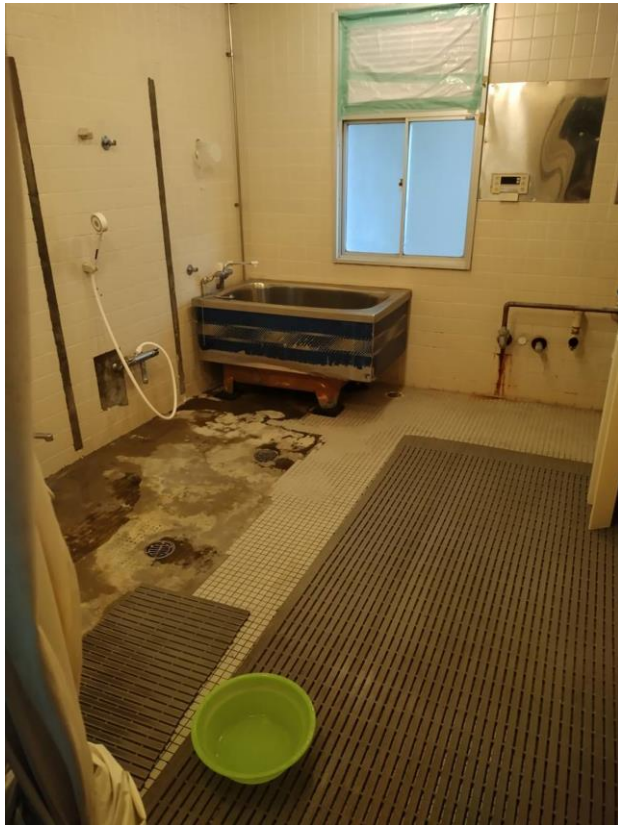
ここで少しでも市政の劣化を食い止めなければなりません。

- ・今必要な目の前の出来る事を一つ一つやっていく
- ・山積んでいる課題を一つ一つ解決する
- ・様々な事業は成果費用対効果を検証し必要性を見極め予算を投じる

◆ **今優先的にやるべき事**

- ① 道路・下水道などのインフラ老朽化
- ② 学校をはじめとした公共施設の老朽化
- ③ 命を守る為の災害対策ができていない
- ④ 二転三転して長年迷走しているごみ問題
- ⑤ 図書館やスポーツ施設などの施設が貧弱
- ⑥ インバウンドなどの観光問題の対応
- ⑦ 昨今の急激な物価高騰・人手不足の対応

## ◆これが鎌倉市役所裏側の実態！



### ○これ鎌倉消防署のお風呂場なんです！

先日、新人議員研修の施設見学に同行した。こういった時は職員がざっばらんに話してくれる。様々な問題点が聞けるので良い機会なのであります。

普段見る事がない消防署員の生活スペースを見学。風呂場の前に行った時、職員から「長嶋議員に是非見ていただきたい」と声が飛んできた。早速覗いてみたら「まあ、なんと酷い事か」。正直開いた口がふさがらなかった。市長は見ているの？と聞いたら「はい勿論」との答え。

→放置しているのおかしい。正直狂っています。

日勤以外の消防署員は 24 時間勤務なので、消防署から出ないで、寝泊まりして、食事をして、救急出動に備えます→30 数名います。

この劣悪な環境は信じられません。寝室も林間学校のような 2 段ベットの雑居部屋。個人のプライバシーが無い空間。食堂も休憩室も古く清潔感がない感じでした。これはもうハラスメントのレベル。新人議員の皆さんも“これは酷い”と口々に言われていた。他の消防署でもっと酷いレベルの場所もあると聞いた。

本庁舎移転は否決になり出来ないのに、3 億円かけて無駄な基本設計や意味の良くわからないワンデーパークなるイベントはやるのに、市民の命と安全を最前線で守る消防職員への待遇があまりに酷い。

消防部門は過去私への内部告発が一番多く、不祥事も多い。その理由を垣間見た気がします。これでは職員の不満が溜まるのもわかる気がします。

→中沢議長と一緒に比留間副市長・消防長に改善の要望をしました。

→その後 9 月議会で予算措置がされて改善していただける事になりました。

## ◆本庁舎深沢移転ではなく「庁舎 2 拠点化」へ！

7 月 23 日に開催された鎌倉市議会議会全員協議会で「庁舎 2 拠点化」の方針を表明→市長室・議会、総務・企画などの意思決定部門を現本庁舎に残し他部署を深沢に移転する→2 拠点化することで、深沢への異動を予定していた正規職員 850 人のうち 2 割が現庁舎に残る→具体的な分散計画を今年 11 月までに決定する。

市長は「大規模災害時に市役所職員が継続的に安心して業務ができるために必要」と新庁舎建設の意義を示し、「本庁舎と新庁舎が両輪となっていく新案」と分割移転について説明。

- ・2022 年 9 月時点の深沢新庁舎整備費 170 億円。
- ・現庁舎建て替えは約 140 億円→合計約 310 億円。
- ・物価高騰で大幅に増えることが予想される。

詳細はまだ決まっていますが、10 月の市長選挙に向けて松尾市長がご自身 5 期目の生き残りの為のかじを切ったと思われます。

何が何でも箱物行政をやりたいようです。その背景はなに？

これまで審議会などで積み上げたものを飛ばして市民の意見を聞かずに決定。市役所ファースト？ 今先にやるべき事があるのでは？



内容詳細

## ◆鎌倉市役所は貴重なモダニズム建築

1950 年代～1960 年代の貴重なモダニズム建築と並び文化的価値がある建物との評価もある。



久米建築事務所 1969 年